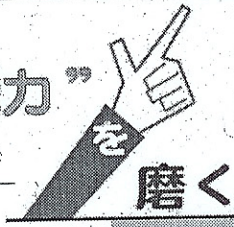


くらし

“就職力”



2

キャリア意欲でつくる

皆さんは「キャリア」とはどのようなものだと思いますか。スタンフォード大学心理学教授のジョン・D・クランボルツは「キャリアの80%は予期しない偶然的出来事によって形成される」と唱えました。キャリアは綿密に計画して

進められていくというよりも、むしろ予期せぬ出来事との遭遇でつくられていくというのです。実際、何もかも計画通りにいく人生などありません。ということば、計画(キャリアデザイン)は全く意味がないのでしょうか。決してそうではありません。クランボルツは次のようにも述べています。「その予期せぬ出来事というのは、ただ待っている人には訪れない。キャリアを自らついで意欲的につくり出さず。

うとしていく人の元に来る。自らが望む方向性があれば、その方向にアンテナが立つだろうし、予期せぬ出来事が起こった時もチャンスを見逃さないはずです。またクランボルツは、成功した人々へのヒアリングで偶然を必然にするために何が必要なのかを探った結果「好奇心」「持続性」「柔軟性」「楽観性」「リスクテイクング」の五つのスキルを指摘しています。

最近会った二十七歳の若者の再就職から、多くのことを学ばせてもらいました。彼は大学卒業時に出版

業界を希望したのですが難関を突破できず、ある都市銀行に就職しました。三年間懸命に働きながらも「ものを書く」仕事への夢を捨てられず、出版業界の中途採用の門をたたいたといいます。金融の経験が生きても門を開くことができた喜びにあふれて報告してくれました。彼の職務経験が「チャンスを呼び込める力」を蓄えたのだと思っています。

クランボルツの五つのスキルをハローワーク勤務の友人が就職用いアレンジしてくれました。「好奇心」―好奇心がある限り就職においても成功は近い。「持続性」―落ちてもあきらめない粘りが就職活動に不可欠。「柔軟性」―柔軟に再考を繰り返す。「楽観性」―何とかなるさ。楽観は成功への鍵。「リスクテイクング」―動かなければ始まらない、チャレンジが大切。

「日ごろの生活における心構えに就職への一歩が潜んでいるのです。」

(人材教育コンサルタント 坂巻美和子、イラストは長縄キヌエ)



ハローワーク

〓 木曜日に掲載します

ヤ建 対策協会の南山和也理事(関) と話している。